第１回環境担当者研修会

研修部会長 山 中 英 生
(京セラ㈱滋賀野洲工場)

2026年７月30日、令和８年度　第１回環境担当者研修会を草津市立市民交流プラザ（フェリエ南草津）にて開催いたしました。

今回は、環境担当者の新人の方をはじめ、環境担当者の一助になれるよう「火災発生時の対応と処置」及び「危険物管理の対応について」の研修を企画いたしました。

火災発生時の対応、また危険物管理の対応は、法令順守と現場管理の両面から整理する必要があります。具体的な対応ポイントを体系的にまとめ、事例紹介を合わせて、元湖南広域消防局南消防署長 横江様よりご講演頂きました。参加者数は、74名と多数の方にご出席いただきました。

- **開会の挨拶**　湖南甲賀環境協会　会長
  積水化学工業株式会社
  天野　裕文 氏
- **内容**　①火災発生時の対応と処置
  ②危険物管理の対応について
  講師：元湖南広域消防局南消防署長
  横江　忠彦 氏
- **閉会の挨拶**　湖南甲賀環境協会　副会長兼研修部会長
  タキロンシーアイ株式会社
  山本　康広 氏

先ず、「火災発生時の対応と処置」についてですが、火災発生時の対応手順と避難誘導、報告、消火活動のポイントに関し講演頂きました。

火災発生時、自動火災報知設備が作動したら、受信機で発報場所を特定し、全ての警戒区域を確認後、直ちに報告します。人が火災を発見した際は、大声や非常ベルで周囲に知らせ、通報と初期消火を行います。初期消火は、天井に火が移る前に行い、消火器は連続使用し、粉末消火器の場合は再燃防止のために水をかけます。煙を吸わないよう低姿勢で火元に直接噴射し、消火失敗時は屋内消火栓を使用するなど、状況に応じた判断が求められます。

火災判明後は、迅速に避難指示を出し、拡声器や誘導員で明確な経路を示し安全な場所へ誘導します。一度避難したら絶対に戻らず、エレベーターは使用しません。避難は火災発生階とその直上階を優先します。防火戸やシャッターを閉鎖し、空調設備の停止や排煙設備の活用、危険物の安全措置を行うなど、延焼拡大防止措置も迅速に行います。消防隊には出火原因や延焼状況を正確に伝達することが重要です。

自衛消防組織は、明確な役割分担を定め、指揮官は冷静に状況を把握し的確な指示を出す必要があります。指揮官の力量が対応の成否を分けます。人材育成と継続的な訓練は必須です。定期的な消防訓練、混乱

元湖南広域消防局
南消防署長　横江 様

を避ける暗号放送の導入、明確で落ち着いた口調による迅速な通報と正確な情報伝達、などが被害を最小限に抑える鍵となります。

本講演で得られた知見が、皆様の事業所における火災対応能力の向上に繋がり、万一の際の被害を最小限に抑える一助になって頂ければと思います。

次に、「危険物管理の対応について」ですが、危険物の規制、管理、貯蔵・取扱い、運搬、点検、安全対策に関し講演頂きました。

まず危険物が消防法に基づき品名と性質により第１～６類に分類され、その数量などに応じて法規制があります。

貯蔵・取扱いにおいては、施設の設置・変更には行政の許可と検査が必須であり、危険物取扱者制度による有資格者の配置義務を強調されました。安全管理の要点として、安全距離の確保、設備点検、標識掲示の徹底、防爆照明や換気設備などの基準遵守を挙げられました。また、貯蔵・取扱いの共通基準として、遮光・換気、漏洩防止、容器の適合性管理、異なる危険物の同時貯蔵禁止などを説明されました。

運搬・移送についても、運搬容器の材質・構造・表示義務、安全な積載・運搬方法、外部表示の徹底が義務付けられています。移送時の容器管理と取扱者の資格規定も重要です。

重要な安全対策と点検では、定常・非定常工程の継続的な点検と教育の実施、リスクアセスメントによる潜在的危険性の評価が必要です。また、風水害や漏洩流出事故も含め、迅速な応急措置と情報共有の徹底が肝要です。

危険物に関わる全ての業務において、法令を遵守し、常に安全を最優先に行動することは、重要な責務です。本講演で得られた知見が、皆様の事業所における危険物管理のさらなる徹底に繋がることを期待いたします。

環境担当者としても、危険物に対する基本となる部分を知ることが出来、今後の業務に生かせる講演になったと思います。今後も環境の知識のみならず、多角的知識により業務力向上となるよう企画して参りますので、よろしくお願いいたします。